

もぐらん2026

ことし がつ
今年は2月じゃないよ～～～

★ がつ にち ど ★
11月28日(土) ★

※大雨の時は、11月29日(日)にやるよ！

★ みんなでもぐらん楽しもう～～！！ ★



「もぐらん」
ってなーに？

子どもたちの

ほんま みせや
本気のお店屋さん！
じぶん なにや
自分たちで何屋さんを

やるかかんがえて、

じゅんぴ けんせつ
準備・建設をするよ！

とうじつ ほんもの かね つか
当日は本物のお金を使うよ！

あそ ぐ おつけい
遊びに来るだけでもOK！！



もぐらん当日の スケジュール

• 10時～

準備ができるよ！

• 10時45分

もぐらん1日の流れ
の説明をするよ！

• 11時～

もぐらん開始

• 15時～

もぐらん閉店

15時から17時まで
お店の片づけをするよ！

|もぐらんでお店を出したい人|

しょうがく ねんせい こうこう ねんせいゆんれい
小学1年生～高校3年生年齢の人が
お店を出せるよ！

もぐらんでお店を出したい人は、
10月にある ①子ども説明会・②保護者説明会
に参加してね！

☆もぐらんについての詳しいお話をするよ！☆

【①子ども説明会の日程】

9月27日(日)・10月7日(水)・10月10日(土)
15時 15時 11時

【②保護者説明会の日程】

10月4日(日)・10月10日(土)・10月14日(水)
15時 15時 11時

※①②それぞれ1日程ずつ参加してね！



えーじ・ぼっこ (ぼっP) より



ことし はじ
今年ももぐらんが始まるよ！

みんなどんなお店、売り物を

かんがえてくるかな？

たのしみに待ってるよー



やっほう！

みんなと一緒に

もぐらん楽しめる日が待ち遠しい～！

はじめてのもぐらん、どんな感じが

ドキドキ、わくわく～～！！

子どもの原体験が生まれる場所

「みわ、世話人やる?」「うん、おっけー!」
 そんな勢いで!?世話人になり、気づけば2年ほどが経ちました笑
 みわです。世話人といつつ、戦力になれることは少なく...
 これで良いのかしらと思いつつ、ファンクラブ以上、世話人未満の
 気持ちで見守らせていただいています。
 放課後や土日、暇さえあればもぐらへGO!な娘は、
 「自由ってさいこー!」と(心の中で)叫びながら、もぐらを走り回って
 ます。この夏も、外遊びで真っ黒に!☺
 プレーパークで、学校でも家でもできない経験をして、
 「楽しい」「気持ちいい」「やりたい」「できない」「くやしい」
 を繰り返しながら、心も身体もたくましく育っています。
 大人もあそび!この場所では、自分が子どもの頃にできなかった経験を
 今取り返してやるような、不思議な、そんなありがたい場所です。
 いつまでも、もぐらが子どもたちの原体験が生まれる場所でありましょ
 うに!

みわ

鳥山プレーパークでの遊びとは



プレーパーク前の看板読んだことありますか?ぜひ、ご一読くだ
 さい。遊びって何だろうと立ち止まって考えてみてください。

プレーパークって

誰がやっているの?



区と住民の協働で運営しています。
 プレーパークは1979年の開設当初から、区
 と地域住民の協働で運営されています。
 現在は区がNPO 法人プレーパークせたがや
 に事業を委託。場と資金は区が確保し、運営
 はプレーワーカーと、地域住民でもある世話
 人(運営ボランティア)たちが担うという
 「二人三脚」方式です。



ちびっこプレーパーク

乳幼児親子さんとボランティアさんと
 いっしょに楽しく外遊びしています。

第2第4金曜日 10時半から12時くらいまで

味噌汁をみんなで作って食べています。
 野菜など切ってもってきてね。材料費がかかります。

詳しくは Instagramやチラシをご確認ください。

※月1回 土曜日 ちびっこプレーパークはじまりました。



お聞
 います

世話人・ボランティア募集中

鳥山プレーパークはたくさんのボランティアで楽しく運営しています。
 短時間でもイベントの時だけでも、ゴミ拾いからでもなんでもウェルカム!
 自分の得意技を地域で活かしてみませんか!
 ボランティアのご相談はプレーワーカーまでお願いします!
 例 子どもと一緒にくぎひろい イベントの計画づくり
 通信のお届け 遊具づくり 広報
 ※もぐすけ(鳥山プレーパークボランティア団体)活動中
 まずは、プレーワーカー、世話人へお声かけください。



鳥山プレーパークができるまで物語

第2話

鳥山にプレーパークをと地域住民とたくさん話
 し合って場をつくることになり、1996年に現
 在の場所に開園
 プレーリーダーも2名になり開園日も少しずつ
 ふえていくことに。1997年から週に3日からス
 タート。毎日遊べる場になるように活動はつづ
 く。

もぐらんとあそびと私と

もぐらんは、子どもたちが廃材でお店を建て、
 自分たちで作った商品を販売する取り組みです。
 真い物には本物のお金を使います。

「これは面白そう!」と親の私が着かれ、息子に
 もぜひ経験してほしいと思いました。何度か声を
 かけたり、一緒に見学に行ったりもしましたが、
 本人の答えは「やらな〜い」。結局、参加するこ
 とはありませんでした。

「きつといい経験になる」と、私は子どもの気持
 ちより先に期待を膨らませ、先回りしていたのだ
 と思います。

子どもは、自分でたくさん感じ、自分のタイミン
 グでチャレンジしていくものなのですね。息子の
 友人は6年生のときに、ペアで出店に挑戦しまし
 た。息子はその姿を見たくて会場へ行き、友人の
 挑戦をしっかりと見届けていました。

もぐらんを通して、私自身、「子どもを見守る」
 とはどういうことなのかを改めて考える機会をい
 ただきました。

振り返ると、私は過干渉で、先回りをしてしま
 うことが多かったように思います。

子どもたちがそれぞれのタイミングで、思いきり
 遊び、挑戦し、成長していきますように。

そして、見守る親のほうも、期待や不安、喜びや
 葛藤など、さまざまな気持ちを経験するのだと思
 います。

よかったら、お茶でも飲みながら、そんな子育て
 の話を一緒にしませんか。 世話人 ななえ

寄付ありがとうございます

ブルーシート 絵本 タオル
 ごさ お米 虫かご なべ など
 絵の具 募集中です



情報発信中



アクセス

